

第2回交渉後の 報告集会での意見

怒

黒字が想定通りになっていないのは経営陣の責任だが、経営陣のカットが終わっていることに腹が立つ。経営陣天下の会社になってしまった。

コロナ禍、物価高で精神も肉体も疲弊した社員に対し、負の言葉しか出てこない。未来に光も希望も見出すことができない。これでは社員の流出は止まらず、更に優秀な人材も得ることはできない。会社の未来に希望が持てない。庶民感情からかけ離れた考えしかない者には、この会社を任せることは出来ない。

施策を担っているのに、賃金が上がらないという未加入者の怒りも聞いている。生活苦のため、時短勤務を外す人がいるのも実態。



しっかり黒字になった今、何を考えることがある。今上げずにいつ上げる？今が社員の努力に報いる時だ！

黒字まで持ってきた努力に報いることもしない会社。怒りを覚える。会社はどうかしている。



会社は出せる体力があるのに、出せない理由を前面に出して出そうとしていない姿勢が見える。組合員に我慢させている分、満額回答で社員に示せ！

毎年のように辞めていく人がいて、現場長に言っても問題意識がない。このような会社では踏みとどまろうとする人がいないのでは。

労働条件の最たるものは賃金だ！生活実感、労働実感を踏まえ、現場で奮闘している我々の努力に報いる経営姿勢を示せ！「慎重に」ではなく、「柔軟に」判断し、満額回答を強く求める！

若手は入ったばかりで他企業と比較できないのが当たり前。第2基本給は他企業と遜色ないと言うが、他企業で聞いたことがない。

会社幹部は、黒字が必達の目標と職場に来て言っていたのに、黒字になると想定に達していないと言う。超えそうでも超えられない所を目標にしている。

「労働実感」「生活実感」を踏まえた賃金引上げを勝ち取ろう！